

## 大濱信泉プロジェクト『勇気づけの教育』の推進 (37)



～ 「チャンス・チャレンジ・チャンピオン」～

石垣市立大浜小学校 校長 仲皿 涼子



現在、大浜小学校では、4月に誕生した学校の合い言葉、「チャンス・チャレンジ・チャンピオン」のフレーズが様々な教育活動の場面で飛び交っています。合い言葉で達成に至るまでの行動や心の持ち方をわかりやすく意味づけし、繰り返しの仕掛けで意識の転換を図ってきました。日常至る所に

あるチャンス、例えば挨拶する場面で、挨拶しようと思ったら、チャンスを見つけたことになります。そして、挨拶をかわすことがチャレンジです。それができたらチャンピオン、と言う具合です。行動となるチャレンジの場面では、ドキドキ感や選択の迷いが生じるものです。自分で自分の背中を押せることもあります。周りからの励ましで乗り越えられることが多いものです。合い言葉の浸透で、自分の中のチャンピオンをめざす心や行動の変化が見える環境が整ってきました。

ある日の1年生との会話の1コマです。

「校長先生～、トマト嫌いだけど今日の給食で一口チャレンジする。」キリッとした顔に決意が表れています。「おっ！すごいね、チャンピオンになれるチャンスみつけたんだね。応援しているね。」明るく励まします。「校長先生、トマト1個食べられたよ」と達成した喜びを伝えにきます。「すごい！一口って言っていたのに1個食べられたの？苦手な物に挑戦したチャンピオンだね。〇〇さん、おめでとう！」認められ褒められ満面の笑顔が溢れます。「次もがんばる！」勢いに乗って次へのチャレンジ宣言をする展開になりました。

自分に価値があると思う時にだけ人は勇気を持てると言います。嫌いなトマトを食べてみることに価値を見だし、やってみようとの思いを伝えたことで励まされ、挑戦への勇気パワーが増大したのです。それが行動を促す原動力になり挑戦という行動にまでたどり着きます。食べられたことで「やればできる」ことが実感できると、自信がうまれます。もし、食べられなかったとしても、挑戦できたことと励まされたことで、「次はできるかも」と挑戦へのハードルは低くなり、達成への意欲は高くなります。挑戦へ向かわせる大きな鍵は、勇気パワー生み膨らませる日常の何気ない小さな働きかけです。

この何気ない会話の中に、石垣市が推進する「勇気づけの教育」の内容が詰まっています。

人は自分に無関心な人を信頼することはできないものです。「興味をもつ」「やろうと決意する（自分で決める）」「伝える」ことのアプローチがあった時に、「話を聞いてあげる」「励ます」「結果を認める」「やったことを褒める」「名前であげる」の受け止めの土台があったら自分に向き合ってくれている安心感とともに信頼感が深まります。存在自体を無条件に肯定される関わりがあれば、自己肯定感が高まり、認めてくれていること（自己存在感）や自分は必要とされていること（自己有用感）を実感すると自尊感情が醸成されていきます。自信とともに湧いてくる「挑戦意欲」は、勇気や学ぶ力を育てていきます。

「何かが始まる」時は、「勇気づけ」の絶好の機会です。新しいことへの期待で心弾むのは私だけではないでしょう。何かが始まる時の期待感は、前へ進む大きな力になります。

しかし、その期待感を阻むのが、「大丈夫かな。」「できるかな」という自分への不安感です。子ども達同様、私たち大人もそのまま放っておくと意識の中で「自信のない自分」の壁を積み上げ続け、なかなか自分では乗り越える事ができなくなってしまいます。不安感は、早めのリセットが大事だと考えています。

大浜小学校では、新しい自分へ向かう不安感をリセットできる環境を土台に【支持的風土づくり】に取り組んでいます。不安感は、安心できる環境で払拭されていきます。自己肯定感は、よさを自覚させることや認められた自信で高まっていきます。年間を通して行事や活動、学習など何かが始まる時には機会を逃さずに、「なりたい自分を目指すチャンスの日です。苦手だ、どうせ自分にはできないというマイナスな気持ちは捨て去り、新しい自分にチャレンジする気持ちを持って、スタートしましょう。そして、チャレンジを続ければチャンピオンになれます。」と負の部分を引きずらないように、プラスに向かうスタートだと気持ちの切り替えを伝えています。子ども達は、自分のよさを自覚していない子が多いのです。「いいところは？」の問いに「特にない」と答える子がほとんどです。高学年になるほどその傾向は顕著です。そこで、学校全体で展開する一人一人のよさをみんなが見つけてくれる取り組み「ハッピーフラワー」を主に、様々な活動で自分のよさに気づかせ「自信」につなげています。

チャンス・チャレンジ・チャンピオンの合い言葉で学校全体が繋がってきました。さあ！新しいことが始まる4月がもうすぐやってきます。勇気づけのチャンスです。

「チャンス(興味や関心)は転がっています。見つけたら、ためらわずにチャレンジ(挑戦)する。失敗しても諦めずにやり続けたらチャンピオン(達成)になれる！」ご家庭では、たくさん転がっているチャンスをチャンピオンへ導くのに最も効果的な「見つけたよさを言葉で伝えること」からチャレンジを始めませんか。子ども達が関わるすべての環境が、安心して自信をつけることができる勇気づけが溢れる環境になる事を夢みながら、本校では、チャンス・チャレンジ・チャンピオンが飛び交う学校づくりを展開中です。